



# 賀 春



(財)東京動物園協会 提供

## 新春のご挨拶

台東区議会議長 鈴木 茂



新年、あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、台東区議会を代表いたしまして、ご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、国政では、政権交代という大きな変化がございました。

政権交代により執行停止や見直しが必要になった事業など、地方自治体にとっても、政権交代は少なからぬ影響を及ぼしております。

国と地方の関係は、今までとは異なった、新たな時代を迎えました。

私は、年頭にあたり、議会や議員の役割を再認識するとともに、区民の皆様の台東区に託す夢や希望の実現のため、皆様とともに歩いていくことを、心に強く刻む次第でございます。

また、去年は、景気の悪化が、区民の皆様の生活や、区内の事業者の皆様への企業経営に暗い影を落とすとともに、特別区交付金の減少など、台東区政も厳しい運営を迫られた年でもございました。

このような状況の中で、23区で初の区立病院である「台東病院」や「ことぶきこども園」「寿子ども家庭支援センター」の開設、また、「上野中央通り地下駐車場」のオープン、「台東区共通商品券」の発行など、福祉、子育て、産業振興をはじめ、

様々な分野で充実を図ってまいりました。

司馬遼太郎の代表作に『坂の上の雲』がございます。

日本が近代国家として生まれ変わった明治時代、時代が揺れ動く中で、青い空に浮かぶ一朶（いちだ）の雲に、夢や理想、目標を抱き、時代という坂道を駆け上った若者たちの物語でございます。

少子高齢化の急速な進展や、不透明感が続く経済動向など、我が国の社会経済構造が大きく揺れ動いております。

台東区にとっても、本年は、昨年以上の税収不足が見込まれ、厳しい年ではございますが、区民の皆様が、将来に夢や理想、目標を持てるよう、「長期総合計画」の後期計画の改定、「新観光ビジョン」の策定をはじめとして、次世代支援や環境、男女平等、スポーツなど様々な分野で、台東区の将来を見据えた基本計画や行動計画の策定が行われます。

私ども台東区議会も、区民の皆様と知恵を出し合って、行政とも一体となり、活気に満ち溢れた台東区をつくってまいり所存でございます。

最後に、平成22年が、区民の皆さまにとって、幸多き年となりますことをお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。